

令和6年度事業計画

1. 基本方針

我が国において、人口減少、少子高齢化が進展し、人生100年時代を迎えた今、誰もが生涯現役で活躍できる社会の実現が求められています。この中でシルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することにより、高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実に貢献するなど、今後さらにその果たす役割は大きいものとなります。全国的に事業活動やイベントの開催など、新型コロナウイルス発生以前の状況に戻ってきておりますが、世界的な資源価格の高騰や円安の進行による物価上昇は収束の見通しが立たず、私たちの生活にも大きな影響が出ています。

このような状況の中、営利を目的としない、公益性の高い事業を行う公益法人である木更津市における当シルバー人材センターの社会的役割は益々大きくなっております。その反面、定年延長や雇用状況の変化等による新規入会会員数の伸び悩み、また技能職に係る後継者育成や高齢化対策などは、喫緊の課題となっており、改善に向け鋭意取り組んでおりますが、なかなか成果が現れていないのが現状です。今後も引き続きこれらの課題解決に向け積極的に取り組んでまいります。一方、昨年10月より消費税に係るインボイス制度が開始されたことから、会員の配分金が減少としないことを原則としながら、事務的な対応をしていきます。当センターは、これからも木更津市に居住する高齢者の生きがいづくりの場として、また、安心して暮らせる地域社会への貢献などを目指し、会員及び役職員一丸となって事業を推進してまいります。

2. 実施計画

(1) 会員の加入促進と減少対策

① 会員の確保と減少対策

定年の延長や継続雇用制度の普及などに伴い、60歳代の新規入会者数がなかなか伸びず、会員数は横ばい傾向にあります。そこで、今年度も定例の入会説明会を実施するとともに、ハローワークでの出張説明の継続など、新規入会者の確保に向け積極的に取り組んでまいります。さらに会費の半期での減額や入会金を廃止するなど、いろいろな手立てを講じながら会員の確保に努めてまいります。また、毎年多くの会員が退会しておりますが、退会抑止対策として特に未就業者への就業機会の提供に力を入れてまいります。

	令和5年度	令和6年度
会員数	306名	350名
ハローワーク出張説明会	月4回	月4回

② 会員資質の向上

会員の資質向上を図ることは、すなわちセンターの資質を高めることに繋がります。日頃忘れがちになっているシルバー人材センターの設置目的や基本理念などについて広報等を利活用し、改めて自覚してもらうとともに、就業した仕事については、発注者の評価等を絶えず把握しながら今後の就業に役立ててまいります。また、技能の研鑽・向上のため、各種講習会や千葉県シルバー連合会主催の研修会等を計画的に実施し、技能職における技術の向上も図ってまいります。

	令和5年度	令和6年度
研修会数	1回	3回

③ 普及啓発活動

今年度は、スーパー店頭でのチラシ配布などの普及活動を継続し、ホームページにより最新の情報を発信してまいります。また、会報『ふれあい』を全会員及び管内公共施設等に配布するなど、当シルバー人材センターの活動内容を管内の住民に広く周知してまいりま

す。

	令和5年度	令和6年度
店頭でのチラシ配布	1回	3回
回覧板での周知	1回	1回

(2) 安全・適正就業の徹底

① 安全就業の徹底

「安全はすべてに優先する」ことを改めて会員に認識していただき、安全就業の徹底を図ってまいります。

また、安全就業委員による安全パトロールや巡回指導などを定期的実施し、安全に就業していることを確認しながら無事故を目指します。

	令和5年度	令和6年度
安全パトロール	月1回	月1回
巡回指導	月10回程度	月10回程度

② 適正就業の推進

公益法人として、高年齢者雇用安定法や職業安定法、派遣法等の法令を遵守するとともに、シルバー人材センター『適正就業ガイドライン』に基づき適正就業に努めてまいります。また、施設等における継続就業の適正化を図るため、就業者や発注者と協力し、就業の実態を把握しながら就業機会の公平化、適正化に努めてまいります。

	令和5年度	令和6年度
就業先への訪問	0件	月1件

③ 各種講習会の実施

安全・適正就業の徹底を図るため各種講習会を実施してまいります。県シ連をはじめ関係機関と連携を図りながら、植木剪定や、草取りのほか、マナー接遇講習などの新たな講習会を企画し、会員のスキルアップ、更には技能職群の後継者育成を目指してまいります。

	令和5年度	令和6年度
講習会開催件数	0件	1件

(3). 就業機会の推進

① 就業先の確保

現在の就業先において、今後も継続して就業できるようにお願いするとともに、新規の就業先を確保するため、管内の企業を訪問し、新たな就業先を開拓してまいります。併せて、そこに就業できる会員の加入促進も積極的に進めてまいります。

	令和5年度	令和6年度
企業への訪問	0件	月1件

② 技能職における後継者育成及び職域班の組織強化

技能職会員の高齢化が進む中、後継者の育成は喫緊の課題となっています。中でも植木剪定、草取りは従事会員が少ないため多くの受注を捌ききれない状況となっており、早急に対策を講じる必要が生じています。そこで、植木剪定、草取りについてリーダー会議を開催し、それぞれの職域における課題や作業グループ間の仕事の横断的な積極的な調整のあり方、後継者の育成などについて協議・検討してまいります。

	令和5年度	令和6年度
検討会の開催	0件	1件

(4) 組織体制の充実・強化

① 理事会機能の強化

総会や理事会などの意思決定機関に至るまでの各部会の活性化を図ってまいります。また、理事会においては、各部会の活動状況を随時報告することにより、各役員が共通認識を持って相互に協力できる体制づくりを構築してまいります。

	令和5年度	令和6年度
理事との協議	3件	4件

② 事務局体制の充実・強化

事務局体制の充実・強化は、センターを運営していくうえでとても重要です。今後も現在の職員体制を維持しながら徹底した事務作業

の効率化を図るとともに、職員の資質向上のための各種研修会や講習会への参加を促してまいります。

	令和5年度	令和6年度
研修会等の参加数	1回	5回

(5) 財政運営基盤の確立

① 自主財源の確保

自主財源の確保は、センター運営上の基礎となるものです。これまで健全な財政運営に努めてまいりましたが、今年度も引き続き新規就業先の開拓等により事業収益を増やし、安定した自主財源の確保を図りながら健全な財政運営に努めてまいります。

	令和5年度	令和6年度
賛助会員の数	0人	2人

② 行政機関との連携

当センターが事業を運営していくうえで、国・市の支援・協力はなくてはならないものです。今年度も運営費補助金の維持・継続及び積極的な仕事の発注について要望していくとともに、会員の生きがいづくりや生活の安定、更には地域貢献など、シルバー人材センターの目的を果たしながら、積極的に行政機関と連携を図ってまいります。

	令和5年度	令和6年度
高齢者福祉課との協議	3回	月1回